

| 科目名 | 開講時期 | 開講学年 | 必修/選択 | 単位 | 時間 |
|--|---|-------------------------------|-------|-----|------|
| 成人看護学実習 I | 前後期 | 3年 | 必修 | 3単位 | 135h |
| 担当教員名 | メールアドレス | オフィスアワー | | | |
| ◎吉田真里子、下嶽ユキ、遠藤貴子 | mariko.yoshida@tohto.ac.jp | 月～金曜（10時～16時）メールで事前アポイントを取ること | | | |
| 授業の概要 | | | | | |
| 主として急性期・周手術期にある対象への看護について、周手術期病棟での受け持ち看護実習と手術室・クリティカルケアユニットでの見学を通して学ぶ。成人期にある対象の健康障害に対する苦痛を受け止め、回復に向けて対象の健康に関する顕在的・潜在的能力が最大限に発揮できるように支援するための基礎的な看護を学ぶ。＊この科目は看護師の実務経験のある教員による授業科目です。 | | | | | |
| キーワード | 到達目標 | | | | |
| 成人期 クリティカルケア 周手術期看護 麻酔侵襲と生体反応 術後回復過程 術後合併症 ボディイメージ 看護過程 | <p>本科目のカリキュラムポリシー上の位置づけは以下の通りである。 NN-DCP2-1-2、NN-DCP2-1-3、NN-DCP2-2-1、NN-DCP2-3-2に該当する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者を全人的に理解することができる。 2. 対象者の健康状態に応じた看護上の問題を特定することができる。 3. 看護上の問題の解決に向けた看護計画を立案することができる。 4. 対象者の状況や個別性に合わせた看護を実施することができる。 5. 実施した看護について適切に評価することができる。 6. チーム医療の実際を学び、チームにおける看護職の役割と多職種連携の重要性を述べることができる。 7. 看護学生としての立場と責任を理解し、それに相応しい行動をとることができる。 | | | | |
| 学習内容 | | | | | |
| <p>【実習方法】・成人看護学実習オリエンテーション（日程は別途お知らせします）</p> <p>[1週目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内オリエンテーション ・臨地：病院・救急外来オリエンテーション、手術室オリエンテーション ・病棟実習（情報収集、アセスメント、関連図） ・カンファレンス <p>[2週目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟実習：手術見学 ・病棟実習（看護援助、情報収集、看護計画立案） ・カンファレンス <p>[3週目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟実習（看護計画の実施、評価、看護計画の修正） ・実習のまとめと最終カンファレンス | | | | | |
| 受講要件 | | | | | |
| 2年次後期までの学年進度とされているすべての必修科目の単位を修得していること。 | | | | | |
| レポート | その他 | | 合計 | | |
| 80% | 20% | | 100% | | |
| 教員からのメッセージ | | | | | |
| 受け入れてくださる患者さんを第一に考え、また病院・病棟スタッフへの感謝の思いを持つとともに、機会を活かして、自らの学びを最大化することを目指してください。 | | | | | |